

## 平成26年度 事務事業総点検シート(1)

事務事業名	文化観光拠点整備事業							
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	点検責任者(課長名)	森

事業基本情報(必要性)	1	堺市マスタープランの政策体系	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます			
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	2	事業開始年度	H 17 年度
	3	根拠法令等						
	4	事業実施の経緯 平成17年度 堺市文化観光拠点建設検討懇話会を設置 平成20年度 文化観光拠点の整備方針(案)を策定 平成21年度 経済情勢悪化に伴い、民間事業者が施設建設を進める方式による事業者募集を見送る 平成22年度 堺市文化観光拠点整備事業整備方針<<基本構想>>を策定し、事業手法の転換を図る 平成23年度 文化観光拠点整備事業基本計画を策定、展示設計業者・建築設計業者の選定 平成24年度 公共施設の展示・建築設計完了、来訪者サービス施設の民間事業者決定 平成25年度 公共施設の設置条例制定、公共施設の建築・展示製作開始、愛称募集						
	5	事業の対象 堺市民、観光ビジター						
	6	事業目的 ・旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興し、観光集客に資するため、千利休屋敷跡に隣接し、また与謝野晶子生家跡に近接するという立地特性を生かした、千利休、与謝野晶子をテーマとする文化施設、及び堺観光の窓口としての観光案内施設や交通ターミナル機能などからなる文化観光拠点を形成する。 ・これらの施設を中核として、市域内の集客資源等を結ぶ堺観光ネットワークを構築し、市内周遊への誘導を図るとともに、まちの賑わい創出と都市活力の向上に寄与する。						
	7	事業内容 ・堺の歴史文化や先人の紹介、観光情報を提供し、堺観光への誘導を行う観光案内施設を整備する。 ・中世に国際交易都市として繁栄した堺のまちと千利休が大成した茶の湯文化を紹介し、国内外の人が気軽に茶の湯を体験できる千利休・茶の湯関連施設を整備する。 ・与謝野晶子の生涯や多彩な業績を顕彰するとともに、「ゆかりの地」や「ゆかりの人々」とのネットワークを構築することで、全国の晶子顕彰の拠点となる与謝野晶子顕彰施設を整備する。 ・観光バスや自家用車の駐車場を備え、市内周遊のパーク&ライドの基点となる交通関連施設を整備する。 ・飲食、物販など、民間事業者による来訪者サービス施設を整備する。  <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( )						

項 目		単 位	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	
事業コスト	8	事業費 (a)	千円	33,103	139,533	780,474	2,976,954
	主な事業費内訳	歴史文化にぎわいプラザ・周辺道路等整備工事費	千円	0	0	566,001	2,207,681
		歴史文化にぎわいプラザ展示製作施工業務等委託料	千円	0	0	168,800	393,880
		その他(委託料等)	千円	0	0	45,673	375,393
	財源内訳	一般財源	千円	33,103	139,533	458,117	591,126
		国・府支出金	千円	0	0	147,257	410,728
その他(市債)		千円			175,100	1,975,100	
9	人件費(再任用、短期臨時職員等含む) (b)	千円	25,500	24,900	34,600	33,400	
10	事業コスト(c)=(a)+(b)	千円	58,603	164,433	815,074	3,010,354	

指標名		単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動指標(有効性)	文化観光拠点施設建築工事進捗率	%	目標	—	—	10	100
			実績			10	
			達成率	%	%	100%	
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円			81,507		
算出方法・計算式など							
指標名		単 位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		目標					
		実績					
		達成率	%	%	%		
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円					
算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】							

## 平成26年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	文化観光拠点整備事業							
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光企画	課	点検責任者(課長名)	森

成果指標(有効性)	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
			目標					
			実績					
			達成率	%	%	%		
	算出方法・計算式など							
	12	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
				目標				
				実績				
				達成率	%	%	%	
	算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】								
年間集客目標: 約15万人~20万人(平成27年3月開設予定)								
堺市マスタープランの達成目標: 観光ビジター数 1,000万人(平成27年度)								

事業点検項目(効率性・妥当性)	指標の傾向の確認(活動指標・成果指標それぞれの経年変化)									
	13	活動実績単位コスト(11)		活動指標の達成率(11)			成果指標の達成率(12)			
		<input type="checkbox"/> 縮減傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 上昇傾向		<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向			<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向			
	14	関連事業との統合の可能性			統合可能性のある関連事業名		関連事業がある場合、統合の可能・不可能の理由			
		<input type="checkbox"/> 関連する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 関連する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 関連する事業はない								
	15	民間実施や市民協働の可能性			左記の理由					
		<input type="checkbox"/> 可能性がある <input type="checkbox"/> 可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> すでに実施している			・来訪者サービス施設を民間事業者により整備する。 ・公共施設の管理運営について、指定管理者制度を導入する。					
	16	受益者負担の確認			左記の理由					
		受益者負担の有無		見直しの必要性		整備事業としては、受益者負担は無い。施設の開館後は、有料施設の利用者に入館料・施設使用料の負担を求める予定である。				
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
17	市民ニーズとの合致性			把握方法・把握していない場合、その理由						
	市民ニーズの把握			・平成20年 整備方針(案)に対するパブリックコメントを実施 ・平成23年 基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握している									
	<input type="checkbox"/> 把握していない									
18	比較参考値(政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)							【政令指定都市の状況】		
								【国等の基準との比較】		
								【その他の状況】		

改善取組	19	課題	「活動指標」「成果指標」「事業点検項目」での点検内容を踏まえて記入 ・平成27年3月(予定)の開設に向けて、指定管理者や来訪者サービス施設を整備・運営する民間事業者との連携等により文化観光拠点の観光魅力を向上させるとともに、平成27年3月(予定)の開設に向けて集客力を高めるためのプロモーション活動を行わなければならない。
	20	改善取組	上記課題に対する平成26年度における改善取組 ・指定管理者の運営ノウハウを活用した市内・市外の方々にとって魅力ある施設運営が行えるよう準備をすすめるとともに、博物館等の市内観光施設や来訪者サービス施設を整備・運営する民間事業者、周辺商店等との連携を図っていく。 ・指定管理者が持つ民間のネットワーク・ノウハウを活用し、効率的・効果的なプロモーション活動を実施していく。

事業所管課評価	21	事業の方向性	左記の理由(必要性・有効性・効率性・妥当性を踏まえて記入)
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	平成27年3月(予定)の施設開設に向けて、施設建設・展示製作・プロモーション活動等が拡大することとなる。
22	公金投入の方向性	左記の理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ゼロ	平成26年度は施設の完成・開設となるため、工事費、展示製作費、開設に向けたプロモーション経費等が拡大することとなる。	